



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 41

2012. 5. 16 (No.2685)

第2560地区ガバナー／石本 隆太郎
 会長／山田 富義
 会長エレクト／杉山 幸英 (クラブ奉仕A)
 副会長／丸山 行彦 (クラブ奉仕B)
 幹事／小出子 恵出
 S A A／伊藤 寛一
 会計／明田川 賢一

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:56名中39名
 ■先々週出席率:84.91%

【先週のメイクアップ】

- [5.10] 三条ローターアクトへ
 ・渡辺良一さん
- [5.15] 三条北RCへ
 ・熊倉昌平さん、菊池 渉さん
 ・浅野金治さん、藤田紘一さん
 ・高橋尚樹さん (5名)



「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
 2011～2012年度国際ロータリーのテーマ

「大崎浄水場・調整池」



山田富義 会員より

会長挨拶

山田富義 会長



皆さんこんにちは、挨拶申し上げます。
 今日には久々に野水先輩の元気なお顔を
 拝見し、安心致しました。

お見舞いに行けず、大変申し訳ありません
 でした。

先週は取引先の葬儀参列のため急遽例
 会欠席となり、樺山直前会長に挨拶をお願
 いし、快く引き受けて頂きありがとうございました。

本日は、2012年国際ロータリーバンコク大会参加報告の予
 定でしたが、2名様のご連絡をさせていただきます。

●名誉会員藤田説量様は、5月8日午前10時、享年94歳でご逝
 去されました。

親族による葬儀は終わっているそうです。

6月9日(土) 11時より極楽寺、檀中葬

6月10日(日) 一般葬は200名を予定、ロータリー関係は50名
 位の席を用意する。(詳細は後日報告します。)

香典は、5,000円で統一

藤田説量先輩の挨拶は何時もユーモアいっぱい、会場を
 明るくしてくださいました。

◆ロータリー歴 大正8年生まれ 94歳
1975年(昭和50年)三条ロータリークラブ入会
1976年～1977年度 20代会長
1986年～1987年度 新潟、群馬地区ガバナー

●広岡豊作元三条ロータリークラブ会員様は、5月14日午後5時59分84歳でご逝去されました。藤田説量さんと広岡さんはとても仲良しで「松木屋の料理が三条一」だと良く言われていました。広岡さんは穏やかな方で、2次会に松木屋さんの近くに「マガンダ」と言うキャバクラがありました。中国人、フィリピン人、ロシア人のいる店で、2～3回お誘いし、社会勉強に行ったことがあります。「健全なお店で勉強になりました」と言われた事が記憶にあります。

◆ロータリー歴 昭和3年生まれ 84歳
1964年(昭和39年)三条ロータリークラブ入会
1978年～1979年度 22代会長
本日理事役員会において、広岡元会員の告別式に、生花1基、香典1万円を持参する事を承認されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

5月12日(土)午後、杉山エレクト・船越親睦委員・私3名で佐藤純二会員のお見舞いに行ってきた。本人は至って元気で、昼食には奥様と一緒に「うなぎ」を食べて来たそうです。8月まで治療のため入院の予定だそうです。

幹事報告

小出子恵出 幹事

◎2011-12年度 RI第2560地区ローターアクト地区協議会のご案内

日にち 5月26日(土)～27日(日)

会場 上越市市民プラザ

◎越後魚沼RCより

「シャンソンコンサートのご案内」

日時 6月10日(日) 18:00開演(17:00 小屋開け)

会場 魚沼市小出郷文化会館 小ホール

料金 2,000円

締切 6月5日(火)までに越後魚沼RC事務局に申込み

ニコニコBOX

山田富義さん

先週は葬儀参列のため例会欠席となり、樺山直前会長、ご迷惑をかけました。

2012年度国際ロータリーバンコク大会に三条RCから渡辺勝利会員と2人出席しました。渡辺さんには大変お世話になりました。

五十嵐晋三さん、卓話ありがとうございます。

斎藤弘文さん

三条八幡宮春季大祭 大名行列が行われ、参加致しました。

五十嵐晋三さんの卓話、楽しみにしています。

五十嵐晋三さん

10数年振りの卓話です。お付き合いください。

樺山 仁さん

三条祭りも無事に終わり、市内も盛り上がっていました。

藤田会員、広岡元会員、共に病に倒れ他界されました。本当に残念です。御冥福を祈ります。

本日は、ベテラン会員の五十嵐さんの卓話に期待して。

小出子恵出さん

五十嵐晋三さん、卓話楽しみにしています。

運転免許証を燃やしてしまい、ショゲています。

杉山幸英さん

三条祭りの行列も行われて良かったですね。

五十嵐晋三さんの卓話を楽しみにしております。

熊倉昌平さん

五十嵐晋三さんの久し振りの卓話、期待していました。

荻根澤隆雄さん

五十嵐晋三大先輩の卓話に。

若槻八十彦さん

三条まつりが無事終了しました。

松永一義さん

小雨の中、15日は三条まつり無事に終わりました。

雨に濡れても髪の毛は大丈夫でした。

菊池 渉さん

久々の例会のような気がしています。連休中はどこへも行かず、連休明けに京都、東京二往復と出ずっぱりでした。

木村文夫さん

所用より早退させていただきます。

卓話、最後まで聞けなくて残念です。

丸山行彦さん

先週の例会で、ニコニコボックス委員が誰も居ず、ご迷惑をおかけしました。

代行していただきました荻根澤さん、ありがとうございました。

外山雅也さん、五十嵐昭一さん、高橋 司さん、

船越正夫さん、伊藤寛一さん、熊倉博之さん、

中村光一さん、石橋育於さん、会田二郎さん、

金子俊郎さん、斎藤真澄さん、明田川賢一さん、

渡辺良一さん、中林順一さん

五十嵐晋三会員、本日は卓話ありがとうございます。

お話し楽しみにしております。

5月16日分 ￥32,000

今年度累計 ￥1,212,000

卓話

ズルめに



五十嵐晋三 会員

皆さんこんにちは。あんまりいっぱい激励のニコニコBOXを頂きまして大変恐縮しております。ご期待に添えるかどうかわかりませんが卓話をさせていただきます。

十数年ぶりということは、その間には委員会報告で一回か二回は登壇をしましたけども、これが卓話としては三回目であります。34年間在籍をしておりまして、三回と言う事になりますと、一回目は新入会員で直ぐあったのですが、その後はずーっと無かったものですから、15年に一回くらいまわってくるのかなという事になりまして、あんまりもてない男はそういうもんのかなと思っております。

友人に入会を勧められた時、とんでもない事だと、そんな器でないと固く断りました。自分の事は自分がよくわかっていたからであります。そうしましたら、もう一人の友人が「人が一生懸命誘っているのに断るとは何事だ」「言われるうちが花だぞ」「もう遊んでやらないから」と言われ、遊んでもらえないと困るものですから、そんな器でない事を百も承知で入会させて頂きました。おかげで今でも友人から仲良く遊んでもらっております。

入会間も無く、オリエンテーリングがありました。会場は松木屋さんでありました。講師（大先輩）は斎藤権八さん、長谷川一雄さん、田巻実さん、鈴木宗資さん、もう一人居られたのですがはっきりと致しません。皆さんは三条きっての名門の方々でありましたし、私の父親の年の方ばかりでありました。私達は大変緊張したひと時でありました。大先輩の皆さんは終始にこやかで、我が子を諭すように色々なお話を頂きました。大変うれしそうにしておられた事を忘れる事は出来ません。

とにかく結論は、例会に出席をする事。例会に出席することによって、自然とロータリーがわかってくるし親睦もはかれると言うことでした。とにかく出席をする事と言うのを徹底的に叩き込まれました。

オリエンテーリングが終りまして懇親会になる時に、鈴木宗資さんが「松木屋さん、すぐ芸者呼びなさい。」と言われました。松木屋さん（広岡さん）はびっくりされまして、「オリエンテーリングで今まで芸者を呼んだ事は一回もありませんけど。」「いいから呼びなさい。」「は、はい。」と言うことで、芸者付きの懇親会になりました。おそらく鈴木さんは私達が硬くなっているのを見ての親心であったと思います。そういう粋な計らいが出来ると言う事は、今になると大変懐かしい思い出であります。

私は金物屋であります。当時出張を二回しておりました。前半は北海道（札幌、函館）を4～5日、後半は東京、名古屋を4～5日出張しておりました。今のように4つのクラブの無い時ですので、出張先でのメイクアップをよく致しました。

札幌でのメイクアップの時、年輩の方が来られ、「帰られたら田中さんによろしくお伝えください。」と言われました。帰って田中佐造大先輩に伝えました。そうしましたら、「それは私じゃないんですよ。南クラブの俵の事だと思います。」と言われました。よくお聞きしましたら、「南クラブ」の田中正佐久さんは大変位の高い軍人でおられ、その部下の方と言う事でした。

それから、新年を明けまして10日ちょっと前ぐらいに札幌へ行きまして、札幌クラブにメイクアップを致しましたらビジターがいっぱいおりまして、私のテーブルの両隣に座った方が、一人は大変やり手の様な感じの方でありまして、名刺を頂いたら富士銀行の取締役の方でありました。もう一人は終始にこやかにして、年輩の小柄な方でありましたが、名刺を見ましたら養命酒の社長でいられました。北海道は寒いから養命酒がいっぱい売れるのだそうで、大事なお客様の所へ年始に来たのですよと言う話をされました。

函館でメイクアップをした時、年輩の方が「三条からよくおいでいただきました。ごゆっくりお過ごしください。実は私の娘を銅冶の所へ嫁がせております。三条に帰られたらどうぞ銅冶によろしくお伝えください。」と大変丁寧に言われました。帰って銅冶先生に伝えましたら、大変喜んで色々話をしてくださり、その後も何かにつけて親しくお話をしてもらいました。南クラブの銅冶先生の奥さんのお父さんからの言づてでした。

名古屋でもよくメイクアップをしました。都クラブという新しいクラブに行った時です。丁度公式訪問でした。その時の卓話が当時のガバナー、長野の北野幾造氏でありました。新潟と群馬と一緒にの地区のように、愛知と長野が同じ地区であったようです。北野幾造氏はJCの時、新潟、三条にも来られた方です。魚長の二階での懇親会時に近くでお会いしたのです。その当時から見ると、ガバナーになられた北野さんは品格があり立派になられたなあと思いました。

ほほーと思う事がありました。名古屋でのメイクアップ時、会長挨拶での事です。だいぶ年輩の会長でした。登壇され一礼をされました。それが終わるとすぐ何

事もないように下に降りられました。

無言の挨拶でありました。ほ、ほーと思って見ておりました。くどくど言うよりいいもののだと思い、いい方法があるなあと一つ勉強になりました。

秋、ボジョレー解禁日に偶然メイクアップをしたことがありました。会員の中でボジョレーを取り扱っている人の提供でした。やわらかな肉でボジョレーをいただき、今日は大当たりだと思い喜んでおりました。いいタイミングでのメイクアップでした。ボジョレーだけでなく、名古屋フィルハーモニーの第一バイオリニストの演奏を聴きながらの例会でした。大都会ならではの事でした。

それから、今でも残念だったなと思う事がありまして、メイクアップをしまして、時間はつくろうと思えばつくれたのですが、つい気を揉んで卓話を聞かないで帰ってしまいました。その卓話をする方が、名古屋には両口屋是清という三百何十年も続いている和菓子屋があるのですが、その社長の卓話だったのです。どうして三百何十年も続くのかなと、興味があったのですが、ついつい聞かないで帰って来ました。後で残念な事をしたな、滅多に聞けない話だったのにな、と思って悔んだ事もありました。

色々多くメイクアップをしましたが、一つ忘れられぬメイクアップがあります。

それは、尾張徳川家21代目の当主の卓話を聞いた事です。その方は徳川義宣氏という方です。昭和31年に千葉田佐倉藩の堀田家から養子に來られた方があります。現在の天皇陛下と同年で4歳の時からのご学友でいられる方です。背は高く肩幅が広くスリムでいい体格の方でした。

話も全くかざりなく、気取りのない方でありました。かえって周りにいるクラブの人達の方がはるかに緊張していられるように見えました。

徳川美術館の話をしておられまして、徳川美術館が現在あるのは、やはり20代目、自分の前の当主、徳川義親氏の大変立派な尽力があったからこそ現在あるんだという事をよくお話をされていました。

徳川義親氏は昭和初期、大恐慌とその前の関東大震災で世の中がすごく荒んでおまして、みんな食うに困った時代であったそうでありまして、その時に各大名が「売り立て会」という宝物を持って売る会を開いていたそうでありまして、それを何度か見に行かれました、これは大変だと、こんな事をして宝物を売っていたら、歴史がなくなってしまうと、そういう風に感じられたそうでありまして。

低い身分から身を起こして一国一城の主となった初代の武具、歴代当主が家臣とともに名誉と命をか

けた武具や道具が古道具屋やにわか成り金の手で由来など全く無視され単なる骨董品として扱われて売買されていた。それを義親氏は見て、徳川家だけはこういう事があってはならぬ、子孫がどんなに苦難にあっても絶対に手放す事はいけないと思われたそうでありまして。

そうしまして、財団法人を設立致しまして、すぐにそこに所有をされたそうです。そして、昭和10年に徳川美術館をつくり一般公開したそうです。戦後も昭和23年から再開出来たそうです。

その当時は多くの旧大名は宝物を手放して生活をしのいでいたそうでありまして。21代目当主の実家、堀田家もそういう風にして宝物を売っていた。

最初に徳川家に養子に來られた時に、大変驚いた事が二つあるそうです。一つは徳川美術館の事です、室内は裸電球で展示をしてあって、職員のつめている和室は畳が擦り切れており、ふすまはデパートの包装紙が貼られていた、訪れる人も一日10人くらいで淋しい美術館であったそうです。もう一つは、先ほど言いましたように、ここは何にも宝物が売られていないなあとという事にびっくりしたと、堀田家もやはり戦後は宝物を売ってしのいだという事を見ておられたから、そういう事を思われたのだろうと思います。徳川家は全く宝物は手放されていなかったと、その二つの事は非常にびっくりしたという風におっしゃっておいりました。

それから、名古屋の財界からの支援を得て、昭和62年に20数億円をかけ面目一新した徳川美術館の再スタートをしたそうです。大変な苦勞があったものだろうと思います。

私も徳川美術館へは数回行っておいります。行く度にきれいになっています。大変広い所でありまして。

やはり源氏物語絵巻がメインであります。しかし一回も本物は見た事はありません。複製が飾ってありました。本物はめったに展示されぬものかもしれません。

面白いと言いますか、珍しい物で千利休作の茶筌がありました。もう古く赤茶色でした。私には何の変哲もない物でした。しかし、その道の人達には興味ある物だろうと思いました。

卓話の最後に21代当主は、皆様の所に宝物があって管理にお困りの方がいましたら、私の所へ持ってきてください。大切に保管しますと笑顔で話をしていたのが印象的でした。

これが忘れられないメイクアップの一つであります。メイクアップの話をいっぱいさせて頂きましたが、これもオリエンテーリングの時に、粋な計らいのある大先輩が「例会には出席しろよ」と叩き込まれたおかげだと、今でも感謝をしている次第であります。

まだ時間がありますので、もう少しお話をさせて頂きます。

5月の15日になりますと三条祭りであります。もう一つ私は三条祭りでない祭りを体験しております。

それは神田祭りであります。神田祭りは日本三大祭りの一つでありまして、私が三条高校を卒業しましてすぐに神田の須田町の金物問屋に丁稚奉公に三年間行ってまいりまして、その時に神田祭りを二度体験しました。神田祭りは表と裏とありまして、一年目が盛大にやりますと翌年は休みであります。運良く、行った年と3年目の年が表でありました。神田祭りを体験して来ました。神田明神は勝負の神様でありまして、江戸・東京の鎮守様であります。三条で言えば八幡様であります。徳川家康が関ヶ原の合戦に出かける時に必勝を祈願していった神社であります。大変由緒ある神社という事なんだろうと思います。

神田は広いので町内に一基ずつ神輿があるんです。その神輿が大変重たく、何十人もの人で担ぐわけがあります。私が田舎者で行った時に、何も分からないで中に入って、ワッショイワッショイと言いましたら、土地っ子が「馬鹿野郎、田舎者め。神田の祭りはワッショイワッショイじゃねえんだよ。」とっぺんに気合を入れられまして、なるほどなあ、どうなんだろうなあと思って見ていましたら、ワッショイでは神輿の上の鳳凰の羽が踊らないのです。東京の祭り独特の掛け声がありまして、その掛け声は大変リズムカルな掛け声で、担ぐのではなくて神輿を揉むんですね。揉む事によって、リズムが合うとシャンシャンシャンといい音をたてて鳥が羽ばたきます。そうしますと、担ぎ手も調子が出てきて愉快になって気合が入ります。

沿道で見ている人も、やはりそういう時が一番神輿は面白いわけであります。そういう神輿を担ぎまして、須田町の交差点に入ります。当時、路面電車でありましたので、須田町の交差点に入りまして、四方、電車が来るんですけど、北千住から銀座・品川までの電車と九段から錦糸町くらいまでの電車だったと思うのですが、その真中に入りまして、神輿を揉んで動かない。電車がずーとつながります。それが何とも言えない快感で、とにかく動かない。岩本町の方を見ますと、岩本町は問屋街でありまして、血気ざかりの若者がいっぱいいるんでしょうね。岩本町の交差点に入って動かない。そうしますと、警察が来ようが何が来ようが動かないんです。とにかく気合が入っているものですから。消防車が来まして放水をします。どうしてもあれには勝てなくて退散をするという様です。須田町の我々の方は、そこまで警官が来てどけるどけると言います。警官の眼

は笑っているんですよ。まだいってという事を言っているような感じでありました。

まあ動かない、仕舞いに疲れます。そうしますと、四つ角の方に移動をしまして休みます。

その時に忘れられない事がありまして、須田町の交差点に万惣という果物屋がありまして、フルーツパーラーで、あの頃から大きな4階くらいのビルでありました。その女将さんが割烹着姿でホーローの白いバケツに緑鮮やかなメロンのジュースをたっぷり冷やしておいてくれました。無論一杯我々に振舞ってくれます。それを飲みました時に、世の中にこんな美味しい物があるのかなと思いました。ほっぺたが落ちるといっているのはこういう事を言うのかなと思いました。メロンジュースなんていうものは実はそれまで飲んだ事は経験がなかったせいかもしれませんけど、いやいや美味しいものがあるもんだなと、つくづく思いました。

それから、5、6軒隣に本郷という有名な洋食屋がありまして、その前に行きますと、マスターが新しいビア樽を抜きまして、我々に振舞ってくれます。そのころビールの味なんて全くわからない、メロンの方がうんといひ方だったものですから、わからないんですけども、どうしてもその時に飲んだビールの味というのが、それからずっと五十何年もビールを飲んでいるんですけど、ホップの苦みと言いますか、そういうビールに当たった事はありません。やっぱりその頃の、うんと体を使った後のせいかな、物をわからなかったせいかな知りませんが、そういうホップの効いたいいビールに当たった事はありません。

神田明神のお祭りがだいたい終わりますと、明神の境内に集合します。20基も30基も境内に神輿が集まるものですから、それはなかなか迫力のある豪勢なものでありました。境内に入りますと、掛け声を一切消されます。境内では騒いではいけないんだという事なんだろうなと思います。何にも喋らなくても20基も30基もの屈強な若者が担いでいる神輿が境内いっぱいになります。その圧力感というのは大変なものでありました。その最後まで隠しておきました、ワッショイではない言葉は「ありやありやありやありやありや」と担ぐのであります。こういう風なテンポで神輿を揉むんです。そうすると鳳凰がシャンシャンシャンといい音が出るのであります。いい思い出を5月15日にはした事をお話させて頂きました。

丁度時間になりました。ご清聴どうもありがとうございました。

2010-11年度 ガバナー表彰

- 永年在籍ロータリアン表彰 熊倉昌平 会員
- 永年連続出席100%ロータリアン表彰 熊倉昌平 会員
- 長寿ロータリアン表彰 外山雅也 会員



次週例会 5月30日 「会員卓話」 五十嵐博宣 会員

次々週例会 6月6日 「会員卓話」 中林順一 会員

